

令和5年度 岩根小学校だより No2 | (地域版 No2 |)

春 蘭



発行日：令和6年2月13日(火)

発行責任者：渡辺 博明

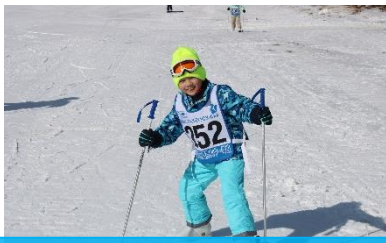
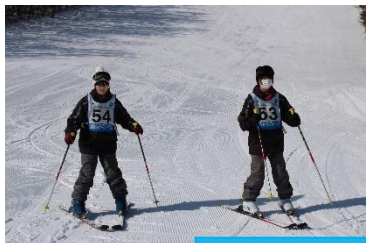
学校教育目標：夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く



岩根小ホームページ

満喫！冬体験 ～スキー教室～

1月31日(水)にスキー教室が行われました。この日は、朝から天気がよく、絶好のスキー日和でした。体験から多くを学ぶ子どもたち。たくさんの笑顔が安達太良スキー場にあふれました。



難しくても、面白いということ



雪は冷たく、そして楽しいということ



仲間と食べるカレーは、特段に美味しいということ



体験を通して学ぶ

岩根の歩み力が認められて ～第40回道徳・特別活動研究論文 文部科学大臣賞受賞～

今年度、本校では、**道徳科と学級会**を校内研究の柱とし、全校一丸となって取り組んできました。また、**児童会活動**の充実にも努めてきました。「子ども自身が**自己の生き方を考え、仲間と共に自らよりよい学校生活を築く**ことができれば、子どものよりよく生きようとする**心のエネルギー**が強く育つ」という考えを基盤としています。

全学級で週に1度の道徳科の授業を丁寧に繰り返し、全学級で学級会を積み重ねてきました。今回、子どもたちとの成長を研究論文という形でまとめたところ、その成果が多くの方に認められ、「第40回道徳・特別活動研究論文～特別活動の部」において、**文部科学大臣賞**を受賞することができました。

タイトルは「**はじめの一步、みんなで一步 ～自発的、自治的活動の充実からのアプローチ**」です。かみ砕いて言えば、「先生も子どもも同じ方向を向いてその一步を踏み出そう。そして、子ども自身がよりよい学校生活を考え、行動していく、**子どもが真ん中の学校**をつくっていこう」といった感じになるでしょうか。

菅野 健彦 研究主任を中心に全教職員で取り組んできました。創立150周年の年に、栄えある賞をいただくことができました。今回の受賞をさらなる励みとし、これからも、子どもの**「心の活力」**を育て、さらに、子どもが真ん中にある学校を目指していきます。



学級会を積み重ね ～4年～

一丸となって取り組んで ～web県なわとびコンテスト～

前回の学校便り「春蘭」でもお伝えした、県教委主催の「**web県なわとびコンテスト**」が終了しました。本校では、この時期、冬場の体力強化を兼ねて体育科や休み時間を活用し、全校でなわとび運動に取り組んでいます。昨年度より、県の各小学校とweb上で競い合いながら記録の向上を目指してきました。全学年一丸となって、**全校一斉**に取り組むことで、集団の絆が一層強くなり、学校に一体感もつくられていきます。

「先生、今、県1位です」「他の学校にすごい記録の子がいるんです」「長縄の記録、また、伸びました」いろいろな学年の子が、目を輝かせて話をしてくれました。何かを目指している時の子どもたちの表情は本当に生き生きとしています。これもまた「夢」をもつ子どもの姿です。



長縄跳びはチーム力 ～6年～

学校はいたずらに順位を求めることはしません。でも、目標を目指す子どもを励まし、支えることは、大切な教育と考えています。廊下ですれ違った時に「〇〇さん、また1位に返り咲いてたね」「〇組の記録が伸びてるね。応援してるよ」と、いろいろな友達や先生から声をかけられたら、その子の心の中に「よし、また、がんばるぞ」という気持ちがわき起こってくるはず。**「勇気づけ」は「心の活力」を育て、この積み重ねが道徳教育につながるとも考えています。**

いわねっ子は、惜しくも県一位を獲得することはできませんでしたが、その場所を目指した**意思と努力の価値**はプライスレス。ひたむきかつ真剣な取り組みに心からの拍手を送ります。最終結果は右のQRコードからも確認できますので、ぜひ、ご家庭でもなわとびトークに花を咲かせてください。

さあ、今度の目標は、今日から始まる「なわとび記録週間」(2/19 最終日)。自分史上最高を目指して、また、いわねっ子が躍動することを願っています。



県なわとびコンテスト